

問1 8世紀半ばの日本では、人口の増加にともなって口分田が不足し、農民の生活が苦しくなっていました。政府は開墾を奨励するため、723年に「三代に限り土地の私有を認める法」を出しましたが、期限が来ると土地を返す必要があるため、農民の意欲は高まりませんでした。そこで743年、新しく開墾した土地を永久に自分のものにしてよいと認める法令が出されましたが、この法令の名称は何ですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

1. 墾田永年私財法 2. 班田收授法 3. 三世一身の法 4. 地租改正法

問2 奈良時代の文化的な特色を示す記述として、適切なものはどれですか。当時の社会状況や、日本最古の和歌集である『万葉集』の内容を踏まえて答えなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)

1. 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある 2. 醍醐天皇の命によって編纂された最初の勅撰和歌集であり、繊細で優美な歌風が重んじられた 3. 遣唐使の廃止によって生まれた国風文化の流れを汲み、ひらがなを用いた和歌が流行した 4. 後鳥羽上皇の命で編纂され、藤原定家らによって象徴的な美しさを追求した歌が収められた

問3 奈良時代、元明天皇の命により、各国の産物、土地の肥沃さ、地名の由来や古くから伝わる言い伝えなどを記録して提出させた報告書を何といいますか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 万葉集 2. 日本書紀 3. 風土記 4. 古事記

問4 奈良時代において、国の成り立ちや天皇による支配の正当性を示すために複数の書物が編さんされました。これらに関する説明において、稗田阿礼と太安万侶の関わりによって成立した『古事記』の内容として正しいものを選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)

1. 中国の歴史書にならって編年体で記された正史である。 2. 地方の産物や地名の由来、伝承をまとめたものである。 3. 防人や農民など幅広い階層の歌を収録した歌集である。 4. 神話から推古天皇までの出来事が記されている。

問5 8世紀の日本において、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化は、中国(唐)の文化だけでなく、西アジアや中央アジアの影響も受けた国際色豊かな特色を持っています。このように多様な地域の文化が日本に伝わった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

1. 菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、日本独自の自然観や感情を反映した貴族文化が急速に発達したため 2. 遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを経由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため 3. 聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を制定し、高句麗や百済といった朝鮮半島の国々との交流を最優先したため 4. 平清盛が日宋貿易を推進したことで、宋から大量の銅銭や陶磁器が輸入され、貨幣経済が全国的に浸透したため

問6 律令国家の形成期から平安時代初期にかけて、都は遷都を繰り返しました。近畿地方に位置した都の遺跡の位置関係について、最も南に位置する都から、北に向かって順に遷都された時期の古いものから並べた組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)

1. 藤原京 → 平城京 → 長岡京 → 平安京 2. 平城京 → 恭仁京 → 紫香楽宮 → 平安京 3. 藤原京 → 難波京 → 平城京 → 平安京 4. 平安京 → 長岡京 → 平城京 → 藤原京

問7 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陸での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

1. シルクロード(絹の道) 2. スパイスルート(香辛料の道) 3. アップピア街道 4. 茶馬古道(ちゃばこう道)

問8 奈良時代の律令制において、男女ともに負担することが義務づけられていた、田の面積に応じて収穫された稲を納める税を何と呼びますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

問9 島根県の伝統芸能である石見神楽には、ヤマタノオロチ退治などの演目があります。これらの演目の題材となっている日本神話が記された、奈良時代に成立した歴史書はどれか。 (2020年 島根県公立入試 類似)

1. 日本書紀 2. 懷風藻 3. 古事記 4. 万葉集

問10 平安時代の初期に作成されたある戸籍の記録によると、男子が59人であるのに対し、女子が376人と記録されており、女子の割合が不自然に多くなっています。このような事実とは異なる内容が戸籍に記載された背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2025年 長野県公立入試 類似)

1. 収穫した稲の約3%を納める租の負担が、男子よりも女子の方が重くなるように定められていたため。 2. 口分田の割り当てを受ける権利が女子のみに認められていたため、男子を女子として登録する必要があったため。 3. 当時の社会では女性の地位が極めて高く、政治的な役職に就くために女子として登録する者が多かったため。 4. 都での労役の代わりに布を納める庸や、地方の特産物を納める調の負担が、主に成人男性に課されていたため。

問11 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)

1. 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。 2. 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。 3. 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。 4. 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。

問12 律令国家が現在の福岡県に大宰府を設置し、他の地方の役所とは異なる強力な権限を持たせた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)

1. 蝦夷(えみし)の抵抗を抑えて東北地方の支配を広げるための軍事拠点が必要だったため 2. 大陸との交渉窓口としての役割とともに、周辺諸国からの侵攻に備える国防の要地であったため 3. 鎌倉幕府が西国の武士を監視し、京都の朝廷の動きを牽制するための出先機関が必要だったため 4. 明治政府が北海道の開拓とロシアに対する警備を同時に進めるための組織が必要だったため

問13 8世紀初めに、古くから伝わる神話や伝承を整理し、天皇による国内支配の正当性を示すことを目的として編纂された歴史書を選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. 万葉集 2. 古事記 3. 日本書紀 4. 風土記

答え合わせ・解説

問1	答え 1 墾田永年私財法	公地公民の原則のもとでは、土地はすべて国家のものでしたが、食料不足を解消するために開墾を促進する必要がありました。743年に出されたこの法令により、土地の私有が永続的に認められたことで、人々が積極的に新しい土地を耕すようになりました。しかし、これが後の荘園（私有地）の形成につながり、公地公民制が崩れる要因ともなりました。
問2	答え 1 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある	『万葉集』は、まだ「かな文字」が発明されていない時代に、漢字の音や訓を用いて日本語を表記する「万葉仮名」で書かれました。防人歌（さきもりうた）や東歌（あずまうた）に代表されるように、名もなき民衆の歌が含まれていることが、平安時代以降の勅撰和歌集との大きな違いです。他の選択肢は平安時代以降の文化や勅撰和歌集（古今和歌集・新古今和歌集）の説明に該当します。
問3	答え 3 風土記	713年に出された編纂の命に基づき、郷土の地理や産物、言い伝えなどを国ごとにまとめた地誌です。律令国家としての地方支配を強めるため、中央政府が各国の状況を詳細に把握する目的で作られました。現在は出雲国（島根県）のものがほぼ完全な形で残っているほか、数力国の写本が伝わっています。
問4	答え 4 神話から推古天皇までの出来事が記されている。	古事記は、当時の皇室の正統性を示すために、神々が日本を作ったという神話から第33代推古天皇までの歴史をまとめた歴史書です。選択肢のうち、正史（国史）は『日本書紀』、地理書は『風土記』、歌集は『万葉集』を指しています。
問5	答え 2 遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを経由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため	8世紀の唐は、西アジアや中央アジアとも活発に交流する国際的な大帝国でした。日本は遣唐使を派遣して唐の進んだ文化を直接取り入れましたが、その中にはシルクロードを通じて唐に伝わっていた西方の文化も含まれていました。その結果、この時代の文化は日本の歴史上でも類を見ないほど国際色豊かなものとなりました。選択肢にある「国風文化」は遣唐使廃止後の10世紀以降、「日宋貿易」は平安末期の平氏政権期、「聖徳太子の外交」は7世紀の飛鳥時代の出来事であり、時期や特色が異なります。
問6	答え 1 藤原京 → 平城京 → 長岡京 → 平安京	日本の古代都城は、持統天皇により完成された日本初の本格的な都城である藤原京が最も南に位置しています。その後、710年に元明天皇がさらに北の平城京へ遷都し、奈良時代の中心となりました。平安時代に入ると、桓武天皇が784年に北西の長岡京へ、さらに794年には最北に位置する平安京へと遷都を行いました。このように、主要な都は南から北へと順に築かれていった経緯があります。
問7	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代の中国と西アジア、そしてヨーロッパ方面を結んだ陸上の交易路をシルクロードと呼びます。このルートを通じて、西アジアやインドの楽器、意匠、技法が中国へ伝わり、さらに唐との交流が盛んだった奈良時代の日本にももたらされました。正倉院にはその当時の国際交流を裏付ける品々が数多く保管されており、「シルクロードの終着点」とも称されます。
問8	答え 1 租	奈良時代の税制において、田の面積に応じて収穫した稲を納める税は租と呼ばれ、男女ともに負担しました。調は地方の特産物、庸は都での労役に代わる布を納める税です。
問9	答え 3 古事記	石見神楽などの各地の伝統芸能や祭礼は、この歴史書に記された神話をモチーフにしているものが多くあります。この書物は現存する日本最古の歴史書であり、当時の人々の世界観や神話を知る上で非常に重要な資料となっています。
問10	答え 4 都での労役の代わりに布を納める庸や、地方の特産物を納める調の負担が、主に成人男性に課されていたため。	律令制下の税制において、布を納める「庸」や特産物を納める「調」、さらには兵役などは、主に成人男性（正丁など）に対して重く課されていました。一方で「租」は男女ともに課されましたが、負担は比較的に軽いものでした。そのため、人々は重い税負担や兵役から逃れるために、男子を女子と偽って戸籍に登録する「偽籍（ぎせき）」を行いました。その結果、資料のように女子の数が極端に多い記録が残ることとなりました。
問11	答え 4 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。	白村江の戦いでの敗北後、大陸からの侵攻に備えるために九州北部の防衛体制が強化されました。防人はその中核を担いましたが、家族と離れて遠方へ赴く苦しみや生活の困窮は激しく、その様子は『万葉集』に収録された「防人歌」からも読み取ることができます。
問12	答え 2 大陸との交渉窓口としての役割とともに、周辺諸国からの侵攻に備える国防の要地であったため	九州は古来よりアジア大陸との交流の玄関口であった一方、白村江の戦い以降は唐や新羅による侵攻が強く警戒されていました。そのため、律令制のもとで外交と国防を一手に担う強力な機関が必要とされました。選択肢にある多賀城は東北の拠点、六波羅探題は鎌倉時代の京都の監視機関、開拓使は明治時代の北海道の機関であるため、時代や目的が異なります。
問13	答え 2 古事記	奈良時代の初期、律令国家としての体制を整える過程で、国家の成り立ちを体系化する必要が生じました。天武天皇の発案により、稗田阿礼が読み上げた伝承を太安万侶が記録する形でまとめられたのがこの歴史書です。神代から推古天皇までの出来事が記されており、同時期に編纂された『日本書紀』とともに、天皇による支配の根拠を裏付ける重要な役割を果たしました。